

みんなの身近なところにも、電気を作る「発電所」があるよ。

■水島発電所



水島発電所は水島コンビナート開設にあたり、このコンビナートの電力をまかなうため、昭和 36 年に他の工場建設に先だって運転を開始しました。

古い歴史の倉敷とコンビナートが共存するここ水島では、地域の環境を守るため、最善の環境保全対策を行っており、水島発電所もこれに協力しています。

発電所の敷地は約 267,000m² で、東京ドームの約 6 倍の広さがあり、そのうち約 25%が緑地です。

■玉島発電所



玉島発電所は、重油と原油および天然ガスを燃料として 3 台の発電機を運転しています。1 号機は昭和 46 年に運転を開始しました。

発電出力は、合計 120 万 kW で、これは岡山県で使われる電気の約 50%に相当します。

煙突の高さは、東京都庁とほぼ同じで 230m もあり、ボイラーの大きさは倉敷市市役所ビルの約 1/2 ぐらいで、その高さは約 55m もあります。

敷地は、約 42 万平方メートルで、甲子園球場の約 11 倍の広さがあり、そのうち約 24%が緑地です。